

# 局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名	産業経済局
----	-------

基本計画	柱	いきいきと働く
	大項目	商業・サービス産業・農林水産業の振興
	取組みの方針	地域の個性を活かした商業の振興

担当局 / 総務担当課名	産業経済局	産業政策課
連絡先	582 - 2299	

21年度計画

-2-(1)-

施策名	がんばる商店街への支援
-----	-------------

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	商店街向けの各種支援メニューの活用により、地域コミュニティの核である商店街の活性化に向けた取組を支援します。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	地域の個性を活かした商業の振興

施策の成果	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		平成21年度	目標値		
		年度	平成21年度		計画	年度	平成25年度
	商店街への支援メニューの活用件数						
	商店街向けの支援メニュー(専門家派遣、共同施設等設置補助、賑わいづくり支援など)の活用が、がんばる商店街の活性化につながると考え、商店街への支援メニューの活用件数を指標に設定しました。	現状値	17件	実績	17 件	目標値	20件
				達成度	%		
		年度		計画		年度	
		現状値		実績		目標値	
				達成度	%		
	年度		計画		年度		
	現状値		実績		目標値		
			達成度	%			
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]			事業費	43,925 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)	
				うち一般財源	43,925 千円	9,450 千円	

## 局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	<b>B</b>	がんばる商店街を支援するためのメニューとして、商店街の活性化に向けた研修への講師派遣や、通行者の安全・安心確保のためのアーケード設置のように共同施設設置費用の一部補助などを行っております。平成21年度は、支援メニューの活用件数が17件であり、実績としては、概ね良好であると考えます。
今後の局施策の方向性	今後も、地元商業者との協議などを通じて、ニーズを引き出し、適切な支援メニューを提供、実施していきます。また、施策の推進においては、国や県の支援制度も併用しながら、より効率的かつ効果的な施策の推進を図ります。	

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

## 評価担当部署の意見

適切な評価  下記のとおり

「商業の振興」といった分野は景気の動向に大きく左右され、事業と成果の相関関係を見ることは非常に困難であることから、現在、「商店街の支援メニューの活用件数」を指標としていることは非常に理解できます。今後、集客数などを活動の成果として把握することが次の取組みへつながることになると考えます。

施策名 **がんばる商店街への支援**

構成事業名	事業費			事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性			
	C時点[21年度:執行額]					21年度			21年度
中小企業団体共同施設等設置補助事業			26,123 千円	3,150 千円	裁量的経費			ウ	
事業費のうち一般財源			26,123 千円						
商店街活性化総合支援事業			849 千円	3,150 千円	裁量的経費			ウ	
事業費のうち一般財源			849 千円						
商店街賑わいづくり支援事業			16,953 千円	3,150 千円	裁量的経費			ウ	
事業費のうち一般財源			16,953 千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						

局施策全体のコスト	21年度		
	事業費	人件費(目安)	
	43,925 千円	9,450 千円	
施策全体の事業費のうち一般財源	43,925 千円		

局施策の  
21年度評価

**B**

【局施策評価】  
A: 大変良い状況にある  
B: 概ね良い状況にある  
C: 概ね良い状況とまでは言えない  
D: 不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了

# 事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	産業経済局	商業振興課
連絡先	551-3646	

基本計画	柱	いきいきと働く
	大項目	商業・サービス産業・農林水産業の振興
	取組みの方針	地域の個性を活かした商業の振興
	主要施策	がんばる商店街への支援

関連計画	
事業期間	昭和51年
経費区分	裁量的経費

-2-(1)-

## 事業名 中小企業団体共同施設等設置補助事業

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	共同施設等(一般共同施設、環境改善のための施設、商店街防火関連設備設置事業の対象となる防火又は消火活動上有用な設備)を設置する事業を行う商店街・市場などに対し、当該事業に必要な資金の一部を補助することにより、共同施設等の設置の促進を図ります。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	がんばる商店街への支援	成果
				商店街への支援メニューの活用件数

目的実現の為に実施する内容	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由			
		現状	当該年度中に共同施設等を設置する事業を行う商店街・市場などに対し、必要な資金の一部を補助する。								
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標		
		制度活用件数					計画	件	年度	-	
		共同施設設置を推進した結果として、実際に事業を行うに到った件数					実績	7	件	内容	-
							達成度	%			
	コスト					事業費	26,123	千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)		
						うち一般財源	26,123	千円		3,150 千円	
	単年度計画										

### 【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	商店街来街者の便益の増加、商店街設備の近代化のため、次の事業を実施しました。 アーケード設置・改修 3件 来街者トイレ改修 1件 ポイントカードシステム導入 1件
------	-------------------------------------	--

### 【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	3	商店街が事業主体となるアーケード等の設置や改修を支援することにより、商店街の買い物環境の整備や競争力強化に寄与しています。	
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4: 高い 3: やや高い	3	戦略的中心市街地商業等活性化事業、中小商業活力向上事業、福岡県顔が見える商店街づくり推進事業など、国、県の支援制度を活用できるものについては活用し、より高い経済性・効率性の実現を図っています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	2: やや低い 1: 低い	4	アーケード改修など、通行者の安全・安心を確保するため、時宜を逸することはできません。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか、市の関与をなくすることはできないのか。	3	3	商店街の高度化・近代化のため支援が必要です。国・県との連携もしながら事業を実施しています。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	今後国・県と連携し、商店街等中小企業団体の共同施設を高度化・近代化を推進していきます。	

# 事業評価票

<b>平成21年度実施事業</b>	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	産業経済局	商業振興課
連絡先	551-3646	

基本計画	柱	いきいきと働く
	大項目	商業・サービス産業・農林水産業の振興
	取組みの方針	地域の個性を活かした商業の振興
	主要施策	がんばる商店街への支援

関連計画	中心市街地活性化基本計画
事業期間	平成17年度～
経費区分	裁量的経費

-2-(1)-

<b>事業名</b>	<b>商店街活性化総合支援事業</b>
------------	---------------------

【目的】 事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたのか。	本事業は、商店街の活性化に向けた勉強会等に講師として専門家を派遣したり、商店街の活性化基本計画の策定など商店街が自ら行う活性化の取組みに対して、経費の一部を補助するものです。商店街への支援にあたっては、活性化に向けた動機付けからコンセンサスの形成、ビジョンづくり、事業計画の策定等、活性化の取組みの各段階に応じて支援事業を行い、地域商業の再生と活性化を推進します。			
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	がんばる商店街への支援	成果	商店街への支援メニューの活用件数

【目的実現の為に実施する内容】	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由				
		現状	地域の特性を活かし、自立性と主体性の確立を目指す商店街が勉強会等を実施する場合、専門家を派遣するなどの支援を行う。									
	実施状況	成果・活動指標 (上段: 指標名、下段: 指標設定の考え方)							平成21年度	目標		
		制度活用件数						計画	1件	年度	-	
		事業者が自ら考え、行動することにより発案された活性化事業について、具体化に向けた支援を実施した件数。なお、商店街の発案や要望に応じて支援する制度であるため、目標数値は設定していません。							実績	4件	内容	-
									達成度	%	内容	
	コスト								計画		年度	
									実績		内容	
	単年度計画								事業費	849千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)	
									うち一般財源	849千円	3,150千円	

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	
実施結果	<p>21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。</p> <p>(専門家派遣: 計4件実施)</p> <p>小原市場組合: 「地域商店街活性化法」の具体的な活用手法について          小倉中央商業連合会: 商品力強化のためのマーケティングや販売促進について          小倉中央商業連合会: 店舗営業力強化のための接客技術、顧客づくりの具体的な手法について          熊手銀天街協同組合: 空き店舗を活用したコミュニティスペース設置の具体的な手法について          商店街自ら発案した活性化の取組みに対して、適切な支援策を適時に実施することにより、商業活性化につながっています。</p>

【事業の再検証】			
評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	3	専門家を派遣し、具体的な活性化手法についての講習や助言を行うことが動機付けとなり、商店街内部で活性化に取り組む機運が高まるとともに、積極的な取り組みにつながっています。また、事業費を一部助成する制度の活用により、活性化事業が具体化しやすくなり、商業活性化につながっています。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	3	商店街が要望する事業内容によっては、国や県の支援制度を活用する方が効率的なケースもあり、国や県との連携に努めています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	商店街が求める時期に適時に支援しなければ、商店街が主体となった商業活性化の推進は困難です。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか、市の関与をなくすことはできないのか。	3	商店街が要望する事業内容によっては、国や県の支援制度を活用する方が効率的な場合がありますが、商店街の個々の特性に応じた商業活性化に対応するには市の支援制度も必要です。
今後の方向性	<p>評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。</p> <p>ア: 事業の見直しを図ることが可能          イ: 休止・廃止を検討          ウ: 現状のまま進めることが適当          エ: 終了</p>	ウ	引き続き、各地域の事業者との情報交換や協議などを通じて、ニーズを引き出し、適切な支援策を実施してまいります。

